

居合道 だより

第 185 号





内野宿大銀杏

はじめに

経験より想像力

コロナウイスの話ばかりで面白くないが少しお付き合いください。秋晴れの空を見上げると第5波が、入れ替わる大気と一緒に運び去られた気がします。思いのほかの感染者激減に専門家も理由を説明できないようです。ウイルス側から見るとワクチンなどに対抗して変異を急ぎすぎると勢いで自滅するという「カタストロフィ」理論だそうです。

新しいこと、次の一步をしようとする時、経験が邪魔をすることが良くありました。過去の嬉しい時、辛い時の経験、他の方の教え、自分の思い込みで方向が分からなくなる事です。そんな時に「さよたんていのおなやみ相談室」という本に出会いました、インスタグラムでは4万以上のフォロワーがいます。おとなの悩みを想像力で一刀両断に回答してくれるものです。例えば一人暮らしの女性が「夏場のゴキブリが悩み」と聞いたら「慣れてください」とばっさり。もし私が「居合を上達するために、もっと深くわかりたいのですが・・・」と質問したら「あなた次第です！」と回答されるかな。

日常の稽古も今の時期は思い込みを一旦横において、慌てず焦らず「後ずさりしながら未来に入って行く」見えているのは今と過去だけ、楽しいことを想像して慎重に足場を探りながら歩み続けていこうと思います。

錬心館 廣房 憲治

東京オリンピック 聖火ランナー

千代剣友会 溝口 敬二

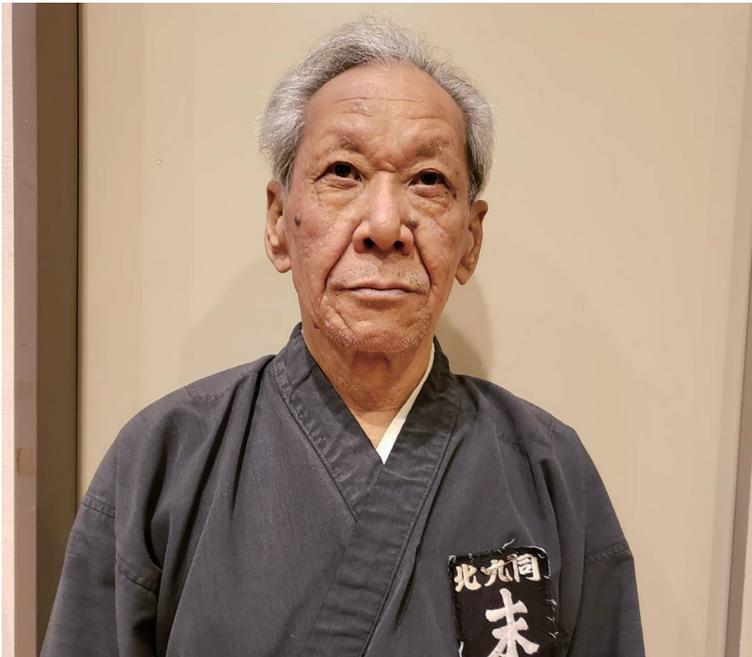
5月11日 春日公園

昭和39年東京オリンピックは高校3年生。

陸上部でインターハイ、国体に出場したのが認められ、福岡33区の聖火ランナーに選ばれ、大変感動と責任の重さに心が震えました。

大学でも陸上を続け全日本I.Cで200m2位となりユニバシールド東京大会の強化選手として、最終聖火ランナー坂井氏と強化合宿を共にする。卒業後高校教員となり陸上競技審判、スターターとして数々の国際大会に参加。特に思い出の大会はユニバシールド福岡大会に教え子が出場し活躍。顧問として大変感動した。学校教育では、社会に有意義な人材を育てる事を中心に教育に励んで参りました。2020東京オリンピックマスコットキャラクターデザイナーの谷口亮君もその1人です。現在は居合道、弓道を通してフランスやロシアの剣友と国際交流を深め活動しています。スポーツを通じて人材育成、文化交流、地域貢献に積極的に取り組んでおります。





昇段者の声

私の居合道七段審査会

『至るまで稽古/当日/これからの取組み』

北九州居合道同好会

末山 幸一

迫野先生編

昨年十一月に先生より「これから厳しい事をいうかも知れないから」との一言で審査に向けての稽古が始まりました。内容的には、十二本全てのやり直しでした。以前からよく言われていたのが、「形だけの居合で気迫も何も感じない」と。

最初の課題が、一本目の抜きつけからの真っ向からの切り下しこの箇所稽古だけで、一か月がたち二か月、三か月がたちました。四か月目になると、先生が「間に合わないまだ教える事があるのに」と言われました。五か月目に入ると一本目+二本目、次が一本目+三本目と変化していきました。

次に当日ですが第二会場の一組目でしたので、審査が始まるまで指定技を必死で覚えていました。かなり緊張しているのが自分でもよく分かりました。審査開始の始めの合図と共に課題の抜きつけからの切り下しが終わった時に、だめだ。こんなじゃだめだ。一本目が終わった時には不合格だなど思いました。

残りの五本はほとんど覚えていません。

控えの椅子に座り来年の地区講習会はどこの県であるんだろうなんて考えていました。

控え室で合否の発表があり、自分では不合格だと思っけていても合格者番号を確認しに行くのですね。不思議でした。

■これからの取り組み

私が三段の時、先生が稽古中に「枯れた居合」と言われた時がありました。それ以降一度も耳にすることがありませんでした。これからは「枯れた居合」を目標にしたいと思うようになりましたのでこのことを先生にお話しますと「まだ早い」今は「習・得・錬」技量を高め、更なる目標として「熟・達」に精進しなさいと言われました。

いつになるかは分かりませんが「枯れた居合」に取り組みたいと思っています。

■小田先生編

先生からも一年前から審査に向けての指導を受けていました。

基本は一緒ですが、迫野先生とはまた違った角度からの指導も多かったと思います。例えば練習方法に、竹刀での素振り、打ち込み、木刀を使っの「間」と「間合」の取り方などがあります。

■これからの取り組み

直近での古流の稽古の際 「守・破・離」の話をされました。「規矩作法、守り尽くして破るとも離るとても本を忘るな」です。

古流に限らず居合は「理合」が第一義と言われましたので、自分の理合をもう一度見直し、考え、後進に説明がしっかりと出来る居合をしたいと思っています。

迫野先生からは「枯れた居合」

小田先生からは 「守・破・離」

これからの残りの時間を掛けて少しでも近づくよう精進していきます。

両先生はじめ同好会の皆さま方に感謝申し上げます。

11月14日 地域稽古会(飯塚市) 飯塚市庄内交流センター



コロナも落ち着き、久しぶりに集まり稽古ができました。やはり楽しい！ということを実感できた1日でした。

11月21日 高段者講習会 福岡武道館



五段以上の講習会が行われました。

主な活動

11月7日	居合道段位審査会（六段・七段）	全剣連	東京都江戸川区
11月14日	地域稽古会（飯塚市）	居合道部	飯塚市庄内交流センター
11月21日	高段者講習会	福剣連	福岡武道館

12月・1月の予定

1月9日	福岡県居合道部初稽古会	福剣連	福岡武道館
------	-------------	-----	-------

編集後記

柄を作らなくては！

私の刀の柄の目釘穴がどんどん広がり、楕円形になって茎が見えてきた。広がるたびに切羽が1枚2枚と増えついには7枚ほど重ねる結果に。もちろんここまで来ると、柄をオーダーして作るが、それまでの間なんとかしなきゃ！そうだ補修しよう！なんか穴埋めてもう一度穴開けりゃいいか～と軽く考えて一目散にホームセンターへ。ありましたありました！速乾のパテ！カチカチになるらしいが、使い方がよくわからないので2種類買ってきて試してみました。

一つは柔らかい歯磨き粉のようなテイストのもの（ボンドと書いてある）もう一つは消しゴムのようなもの、ネリネリして造形するらしい。

柔らかいものから試してみたとりあえず穴のところに塗り重ねるが、柔らかすぎて造形ができないので、今度硬いやつ、粘土のようなやつ。速乾って書いてあるのになかなか固まらない、固まったらすぐポロリ。結局柔らかいものを根気よく塗り重ねる。よしよし、なんとなくうまくいったが、一回稽古したらまた緩んでガタが来た。もう一度丁寧に補修した。また少し緩む。もう一回ぐらい紙でも挟めば上手くいくかな？やればいけそうな気がする。でも鞘の緩み補修にはちょうどいい。

まあ、この手間考えると、素直に作ってもらったほうが良さそうですね。

ブラックフライデーで出て無いかなあ～ AMAZON～

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第185号 令和3年12月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW